

**オドロキがいっぱい!**

オーストラリアの動物まがし。

**AUSTRIVIA**  
AUSTRALIA VISITING TRIP'S GUIDE

<http://www.australia.com/jp/>

Australia

**AUSTRALIAN ANIMAL MAP**

- コアラ
- カンガルー
- エミュー
- ワリケン
- オパール
- クマ
- タスマニア

ノーザンテリトリー  
クイーンズランド州  
西オーストラリア州  
南オーストラリア州  
ニューサウスウェールズ州  
ビクトリア州  
タスマニア州

**動物たちに会いに行くときは、こんなことに気をつけて!**

オーストラリアは、世界自然遺産の登録数が多い国。それだけに国内でも自然保護や生物多様性を守る意識が高く、環境も美しいものになっています。これも、貴重な動物種やかがやかない自然保護を守るためには必要なこと。オーストラリアに出かけるときはぜひ、次のことをきちんと守ってあげよう。

- 動物や植物をむやみに取ったり、不用意に持ち込んたりしないこと。  
オーストラリアは生物多様性の高い国で、外来種の侵入を防ぐため、動物や植物の持ち出し・持ち込みには厳格な制限があります。
- ゴミは持ち帰るか、決められた場所扔到てましよう。  
プラスチックやビニールなど、動物たちが誤って食べてしまったり、人間の手で回収されたりするゴミは動物たちにとって有害な原因となることがあります。
- 動物と触れ合うときは、ルールを守ってね。  
動物たちから伝わるサイン（におい、目つき、うなりなど）を読み取り、適切な対応をすることで動物たちとの距離を近づけることができます。
- レンジャーさんやガイドさんの指示に従おう。  
自然保護のルールを守って楽しむことが、動物たちとの距離を近づけるコツです。自然保護のルールを守らなければ、動物たちの生息地や生態系が壊れてしまう可能性があります。

**NEW SOUTH WALES**

オーストラリアの南東部にあり、南太平洋とタスマニア海に面しているニューサウスウェールズ州は、州都シドニーを中心とした文化・経済の中心エリア。一方で、世界遺産ブルーマウンテン国立公園やイルカと遊ぶえるブードスフィアポイントなどを抱え、もっと動物と触れあふ大自然と触れあふ環境も特長です。

www.nsw.gov.au

**NEW SOUTH WALES**

- シドニー・ワイルドライフ・ワールド**  
2006年9月にオープンした全天候型屋内動物園。シドニー中心部ダーリングハーバーに忽然と現れるこの施設は、まさに「小さなオーストラリア」。大自然を忠実に再現した屋内には100種類以上の動物種が飼育・展示されています。オーストラリア固有の動物たちの自由で自然な姿を観察できます。
- タロンガ動物園**  
シドニー河を見送せるロケーション、地形を生かした自然の中で動物を観賞しています。コアラと一緒の写真撮影、朝食つきプラン、ナイトプランなどユニークなツアーも実施。オーストラリア固有の動物をほぼ全種類見ることができ、サーキュラーからフェリーで12分というアクセスのよさも人気の秘密です。

**NORTHERN TERRITORY**

ダーウィン Darwin  
アラリス・スプリングス Alice Springs  
ノーザン・テリトリー  
中央部に位置し、州都はダーウィン。北部地域をトップランド、南の内部をレッドセンターと呼び、どちらもダイナミックな自然が特徴です。世界遺産のウルル・エアーズロックとカカド国立公園は必見です。東部、南西部にもあるレッドカンガルー帯は必見の野生動物を観察できます。

www.australiatravel.com.au

**NORTHERN TERRITORY**

- イエローウォータークルーズ**  
イエローウォーターは、カカド国立公園のほぼ中央部に広がる熱帯雨林の大湿地。ここをボートで探検するのがカカド観光のハイライト。イエローウォータークルーズです。湿地帯の素晴らしい景観やさまざまな野鳥を観察できるほか、力強いワニの生態が楽しめるジャンピングクロコダイルツアー等があります。
- アラリス・スプリングス・デザートパーク**  
自然の地形を生かした広大な敷地で、砂漠地帯に暮らすユニークな動物を観賞できるデザートパーク。園内には120種類以上の動物、380種類以上の植物が生息。カンガルーやエミューなど安全な動物たちが放し飼いにされているほか、夜行性動物館では砂漠に生息する夜行性動物たちの生態を観察できます。

**QUEENSLAND-1**

ケアンズ Cairns  
タウンズビル Townsville  
クィーンズランド州  
ケアンズとその周辺  
温暖な美しい海、広大な熱帯雨林、主要の産物であるシュリンプとワニ。これはクィーンズランド州は、オーストラリア北部の北東部を占める22日と大きな州で、州都ケアンズは、グレートバリアリアールと世界遺産の熱帯雨林の2つの世界遺産への玄関口として、魅力的な観光地です。

www.qld.gov.au

**QUEENSLAND-1**

- レインフォレストেশン・ネイチャーパーク**  
世界最大の熱帯雨林に囲まれた40ヘクタールもの広大なツースト・アトラクション。水陸両用車「アミーゴック」で熱帯雨林を散策。コアラの触れあふ体験ができるほか、ウォータースライダーや釣り体験「ユリス」の体験も可能。また、クロコダイルの餌付けも大人気で、顔を見合わせるシーンは迫力満点です。
- どきどきツアーズ**  
オーストラリアの動物の約7割は夜行性。そこで大人気なのがケアンズ名物の夜行性動物ツアー。今までに観察することができた動物の種類は30種類を超え、カモフラージュに出会える確率は8割以上。ロックワラビーの餌付けをはじめ、BBQディナーではゴッサムガヤがやってきて、野生動物との触れあひが楽しめます。

**QUEENSLAND-2**

クィーンズランド州  
ブリスベンゴールド・コースト周辺  
ブリスベン Brisbane  
ブリスベンは、クィーンズランド州の州都でオーストラリア最大の都市。また世界的な観光地ゴールドコーストは、ブリスベンから南へ約80km、車で約1時間半の距離にあります。この周辺には熱帯雨林のツアーが豊富にあり、また、世界遺産の熱帯雨林と世界最大の砂の島ツーズー島にも近く、多くの野生動物を観察できます。

www.qld.gov.au

**QUEENSLAND-2**

- ローンバイン・コアラ・サンクチュアリ**  
世界最古で最大規模のコアラ保護区。敷地内には130種を超えるコアラが飼育されています。園内はいくつかのエリアに分けられ、ウォンバトやタスマニア・デビルはほか80種を超える鳥類なども観察でき、飼育員に聞いておくとエミューやカンガルーには、直接顔を触ることも可能です。
- 土ボタルツアー**  
土ボタルと天の川。2つの美しい夜景に酔いしれるツアーです。国立公園内の貴重な暗闇に無数の小さな光を放つ土ボタルは、まるでプラネタリウムのように、さらに夜空を見上げればくっきりと天の川や南十字星がまさか地上と夜空の、キラキラの輝き。さらに熱帯雨林の動物種の観察もあって盛りだくさん。

**SOUTH AUSTRALIA**

カンガルー島 Kangaroo Island  
シール・ベイ自然保護区 Seal Bay  
アドレド Adelaide  
南オーストラリア州  
中央東部にあり、州都はアドレド。右連りのクラシックなアドレドの街並みを一歩脱出外へ踏み出せば、もうそこは動物たちの世界。国内最大部長のマレーリバー、野生動物の宝庫カシガルム島など、見どころがいっぱい。州のシンボル、ウォンバトなど多種の動物はもちろん、海は動物たちも大好きです。

www.sa.gov.au

**SOUTH AUSTRALIA**

- カンガルー島/シール・ベイ自然保護区**  
カンガルー島南側にある海岸で、オーストラリア国内で2番目に大規模なアシカ繁殖地。野生のアシカを間近に見ることができれば、世界でもこのシール・ベイ(Seal Bay)だけ。アシカは保護動物に指定されているので、観察にはレンジャーの同行が必要で、1日の10組、約45分のガイドツアーが実施されています。
- エアー半島/アシカヤイルカと泳ぐ**  
エアー半島のワイルドライフ&アウトバックが体験できるツアー。豪華キャンピングをはじめ、貴重な体験がいっぱい。なかでもユニークなのは、アシカやイルカが群れをなして泳ぐバードベイ(Bird Bay)でのシュノーケリング&ダイビング。人なつこいアシカやイルカたちと一緒に泳ぎ、遊ぶことができます。

**TASMANIA**

タスマニア州  
この島を発見したオランダ人航海士エイベル・タスマンに由来するタスマニアは、大陸の南側に位置する国内で最も小さな州。州都はホバートで、島の大部分が国立公園。水と空気が清々たる豊かな自然の中、タスマニア・デビルをはじめとするタスマニア特有の動物たちを観察することができます。

www.tasmania.gov.au

**TASMANIA**

- デビルズ@クレイドル**  
世界遺産クレイドル・マウンテンエリアにあるタスマニア・デビルを中心に観察できる施設で、あなたもデビルマニアに！タスマニア・デビルはこの島だけに生息する有袋類、夜行性動物なので、ここでは夜の観察も可能。また餌付けもでき、もっと詳しく観察したい人のために教育センターも併設しています。
- アシカ・オットセイ観察ツアー**  
タスマニア島の北西に位置するスタンリー・ナットは、船によるアシカ・オットセイ観察が楽しめます。アシカたちは人なつこく船のまわりを集まってくることで、目的のゴツゴツした岩場では、多くときで約500頭のアシカたちが日々浴びています。約80分ほどのクルーズですが、思わず時間を忘れられるほど。



**VICTORIA**

メルボルン  
Melbourne

ビクトリア州

オーストラリア東部にあり、州都はメルボルン。黄金海岸や雪原地帯で、日本に似た四季折々の景観が楽しめるのが特徴。リトルペンギンウォッチングで有名なフィリップ島は、動物好きにはたまらないスポット。また、有線電線の子どもを驚かせて育てる「ボッサム」が州のシンボルになっています。

www.victoriastats.com.au

**VICTORIA**

1 ヒールズビル自然動物保護区  
オーストラリア固有の動物が200種以上生息。動物たちは自然の状態をそのまま維持しながら放し飼いにされていて、特にカモノハシの繁殖は、大きな成果を上げています。ボウンティアガイドをお使いすれば丁寧な解説つきで楽しむことができ、スクールホリデー期間には特別なイベントも実施しています。

2 フィリップ島(ペンギン・ウォッチング)  
メルボルンから東へ140キロ、車で約2時間のフィリップ島は、なんといってもペンギンワールドが見もの。日没後、海で餌を探り終えた体長30センチ程度のリトルペンギンが、鏡々と砂浜に上っていくところをウォッチング。またシールロックス海洋センターでは、さまざまな海洋生物が観察できます。

www.westernaustralia.com

**WESTERN AUSTRALIA**

ブルーム  
Broom

パーズ  
Perth

西オーストラリア州

州都はパーズ。オーストラリア西部に位置する国内最大の州です。乾燥した内陸部では珍しい地層や化石などが発見され、地層の歴史を知るうえで貴重な場所になっています。また日本の動物園では見ることができない貴重なワカウカワ(ワカウカ)の生息地でもあり、州のシンボルにもなっています。

www.westernaustralia.com

**WESTERN AUSTRALIA**

1 カバシャム・ワイルドライフパーク  
パーズから約30分。ホワイトマンパークの広大な敷地を誇るこの動物園では、コアラに触れて写真を撮ったり、カンガルーの餌付け、ウォンバットの抱っこなどが無料で体験できます。ウォンバットはぬいぐるみのようにかわいらしく、とてもおもしろい動物。自分のカメラを持って行けば写真も撮ってもらえます。

2 モンキー・マイア / トルフィン&ジュゴンウォッチングクルーズ  
世界遺産シャークベイのモンキー・マイア。ここでは有名な帆船シットオーバーに乗ってジュゴンに会いに行くツアーが人気。世界中に約10万頭生息しているといわれるジュゴン。その中の1万頭がこの辺りに生息していると言われています。またジュゴン以外にもイルカ、マントア、ウミガメなどに会えるかも。

Brolga

「踊り好きの美女の化身」と言われるツルがいる。

AUSTRIVIA

Brolga  
ブロールガ

AUSTRIVIA

オーストラリア大陸に生息するツルは、オーストラリアヅル(Grus rubicunda)とオオヅル(Grus antigone)の2種類。どちらも体色は灰色で頸部が赤いなど見かけが似ているため、現地の人々は区別しないで両方をブロールガと呼んでいます。日本には「ツルの慕道し」などの伝説がありますが、アホリソニの間にも、ブロールガは踊り好きの美女の化身であるという言い伝えが残っています。

Camel

オーストラリアには野生のラクダは世界一多く生息している。

AUSTRIVIA

Camel  
ラクダ

AUSTRIVIA

ラクダは、血液中に水分を蓄えることができて筋骨や腱帯に強く、長期間にわたって水なしで行動が可能。初期の遊牧時代は欠かせない存在でした。現在オーストラリアに生息するラクダはその昔アフガニスタンから輸入され野生化したもの。オーストラリア大陸を横断する鉄道「The Ghan」の名物は、ラクダの使い手であるアフガニスタン人(アフガン人)に由来しています。

Cassowary

世界にたったひとつしかないカソワリの道路標識がある。

AUSTRIVIA

Cassowary  
カソワリ

AUSTRIVIA

オーストラリアの鳥の中でもカソワリという鳥はかなりユニーク。北東部の熱帯雨林に生息する超絶の鳥で、日本名は「ヒコイドリ(火喰い鳥)」。体長約180cm、頭に大きくて堅い冠を持ち、大きくて太い足はまるで鎧の子孫のような風格。なかなかお目にかかれなけれど、野生のカソワリに注意を促す珍しい標識が、たったひとつだけクープトリビュレーションにあります。

Crocodile

ワニは、オーストラリアの法律では「魚」に分類される。

AUSTRIVIA

Crocodile  
ワニ

AUSTRIVIA

オーストラリアでは、2006年に可決された新法により、ワニ(クロコダイル)は「魚類」に分類されました。これは皮革などの高価なワニ製品の輸出管理を強化するために必要な法律なのだとか。主に北部の湿地帯に生息。成体ワニは体長3m以下で比較的おとなしめ。イリズワニは7mまで成長し性格も神経、どちらにしても危険なので、現地の看板や標識の指示に従うようにしましょう。

Dingo

ディンゴは、約4000年前に海を渡ってきた移民犬だった。

AUSTRIVIA

Dingo  
ディンゴ

AUSTRIVIA

オーストラリアの動物は、そのほとんどが太古から進化してきた固有種ですが、ディンゴは海を渡ってきた数少ない外来種のひとつ。その経緯には諸説あって、約4000年前にアジアの海上交易人が持ち込んだ家畜犬が野生化したという説が有力。祖先はインドオオカミで、この国では数少ない肉食動物。タスマニアを除くほぼ全土に生息。つがいの特が強く家族で行動する姿をよく見かけます。

Dolphin

イルカは、泳ぎながら左右の脳を交互に眠らせることができる。

AUSTRIVIA

Dolphin  
イルカ

AUSTRIVIA

かつて「イルカは眠らないのでは?」と言われてきましたが、最近の研究では泳ぎながら左右の脳を交互に眠らせていることが分かってきました。右脳が眠っているときは左目を、左脳が眠っているときは右目を閉じるのだとか。またまた謎の多いイルカの生態。西オーストラリアのモンキー・マイアやクイーンズランドのモートン島は餌付けができることでも有名。お友達になってみては?





**Echidna**  
ハリモグラ

**AUSTRIVIA**  
\*\*\*\*\*

そのユーモラスな歩き方で人気のハリモグラは、カモノハシとおなじ哺乳類。哺乳類とは、ひとつの穴しかないという意味で、おしっこもウンチも、子供を産むのも全部同じところで行います。哺乳類なのに卵で子どもを産み、卵を産む前に母親は、お腹をくぼませ、周りの筋肉を大きくして即家の壁(育児袋)を作ります。子どもはハリが生えて直立つと前は自然になくなります。



**Emu**  
エミュ

**AUSTRIVIA**  
\*\*\*\*\*

オーストラリアの国鳥でもあるエミュは、ダチョウに次いで大きな鳥で、高さが2mに達するものも。半乾燥・低木地帯に生息し、草を主食としますが、メスが卵を産みオスが雛を作って育てる習性があります。エミュにとってはオスが「ママ」、羽が小さくて飛べませんが、時速65kmで走ることができ、野生種では雨を逃げて放浪生活しながら一年に1000km移動する場合があります。



**Frill-necked Lizard**  
エリマキトカゲ

**AUSTRIVIA**  
\*\*\*\*\*

エリマキトカゲは、オーストラリア北部に生息するキノボリトカゲの一種で、和名のとおり大きなえりまきが最大の特徴。ふだんはサバンナや森林の樹上で生活。餌を求めて地上にも降りてきますが、危険を感じると近くの木まで二本足で走って逃げます。さらに速いつめられると自體のエリマキを広げ、それでもダメならシッポで攻撃したり、かみついて身を守ります。



**Green ant**  
ツムキアリ

**AUSTRIVIA**  
\*\*\*\*\*

ツムキアリ(グリーンアント)は、本質が緑色のアリ。見た目は対照的に性格は毒虫。木の上に巣をつき先めた巣を作り、樹上で生活しています。特筆すべきはその味で、食べるとレモン果汁のような甘酸っぱい味がします。シトラスやマンゴーなどの酸っぱい味を持っているため、体も果汁のように甘酸っぱいのか、アフリジコの人々の貴重なビタミン源。試食してみる勇気ありますか？



**Green Sea Turtle**  
アオウミガメ

**AUSTRIVIA**  
\*\*\*\*\*

アオウミガメは、グレート・バリア・リアーフでもよく見られるウミガメ。なかでも南部ヘロン島島嶼帯は、ウミガメ・ウォッチングポイントとして有名。産卵のピーク時にはひと晩に30匹ものウミガメが上陸すると、毎年11月〜2月後半に産卵期を迎え、一回の産卵で約100個の卵を産みます。また2月なら生まれたばかりの子ガメが海に泳いでいく様子が見られるかもしれません。



**Kangaroo**  
カンガルー

**AUSTRIVIA**  
\*\*\*\*\*

赤ちゃんをお腹の育児袋で育てることで有名なカンガルー。その学名である「MACHO PUS」は、ラテン語で「大きな足」という意味。発達した後肢で跳躍力にすぐれ、大型種のリッドカンガルーでは時速約45キロで走ることが可能です。ただし後ろに下がるのは大の苦手。これは大きな足と太いシッポが邪魔をするため、逃げる時は最早早く回れ右してジャンプと逃げていきます。



**Koala**  
コアラ

**AUSTRIVIA**  
\*\*\*\*\*

木の上で生活し、動きがゆっくりに見えるコアラですが、山火事などの緊急時には時速を時速40kmで走ることもあります。そのスピードは、なんと40km近くにもなるとか！またコアラはユーカリの葉を食べますが、子育ての時はオッパイのはがにユーカリの葉を母親が食べて消化・分解した「パップ」という食物を与えます。まさに愛情たっぷりな哺乳類。これでスルクと背つのです。



**Penguin**  
ペンギン

**AUSTRIVIA**  
\*\*\*\*\*

ペンギンは現在6属17種が確認されていますが、動物園などを除いてはすべて南半球に分布しています。その理由は、彼らが進化・適応してきた南半球の寒気の流れが赤道を越えないためとか、オーストラリアで飼育できるリトルペンギンなどの最小種は、一度つがいになったら一生夫婦で子育てを一緒にします。逃に出がけその経路まで、毎日経路正しいまじな性格です。





**Platypus**  
カモノハシ

**AUSTRIVIA**  
\*\*\*\*\*

オーストラリア東部沿岸部とタスマニアだけに生息するカモノハシは、体長40〜60cm、手足には水かきがあり、鴨のようなクチバシを持ち、顔で子どもを産む珍しい哺乳類。泳ぎが得意なのに、泳ぐときは目を閉じる習性を持ち、クチバシが獲物の生体電流を感知して餌やミミズ、小虫などを捕まえて食べます。また可愛らしい姿とは裏腹に、後ろ足の爪に毒があり天敵から身を守ります。



**Quokka**  
クオッカ

**AUSTRIVIA**  
\*\*\*\*\*

ネズミによく似たクオッカは、しつはれっきとした有袋類、手のほとんどがバースの沖合のロットネスト島に生息しています。その昔、オランダの探検隊がこの島のクオッカを見つけ、ネズミだと思い「ロットネスト(ネズミの島)」と名付けたのが由来ですが、低気圧状態でも十分に生息でき、真張り電線が強く、倒がなくても縄張りから移動することはほとんどないと書かれています。



**Seal**  
アザラシ

**AUSTRIVIA**  
\*\*\*\*\*

アザラシをアシカやオットセイと見分けるコツは、耳。アシカやオットセイは、耳たぶが突き出ているのに、アザラシは耳の穴だけでツルツルしているのが特徴。ちなみに、彼らは自分の子供を匂いで見分けるといわれているほど嗅覚が鋭いのです。カンガルー島やフィリップ島、バース近郊、タスマニアなどで周辺に観察することができます。



**Ulysses**  
ユリシス

**AUSTRIVIA**  
\*\*\*\*\*

オーストラリアでもっとも人気の高い蝶といえる、なんと書んでもユリシス。とても美しいのが特徴で、「ユリシスを1日3回見ると幸せになれる」「ユリシスが壁に止まるとお宝持ちになれる」など、ユリシスに関するウワサは多種多様、ひときわ大きく美しいのはオース、メスが外敵に襲われそうになると、オスがオトリになり、メスを逃がす習性があるといわれています。



**Whale**  
クジラ

**AUSTRIVIA**  
\*\*\*\*\*

クジラの仲間はいらるいて、体長4m以下の座頭鯨をイルカと呼んでいます。クジラの行動はまた謎の部分が多く、たとえばオーストラリア周辺で観察できるザトウクジラは歌を唄うクジラとして知られ、録音したものを地球外生命体へのメッセージとして宇宙船に積み込んだ、という逸話もあります。季節によっては子育てをするクジラを観察できます。



**Whale shark**  
ジンベイザメ

**AUSTRIVIA**  
\*\*\*\*\*

平均体長7〜8m、最大で18〜20mにも達する世界最大の魚類ジンベイザメ。種類そうに見えますが意外におとなしく、プランクトンやオキアミ、イカ、イワシなどが主食。絶滅危惧種のため野生のものと出会う機会も場所は非常に限られています。オーストラリアなら世界遺産シャークベイの北の沖合ニンガルーリーフで見ることができ、3月下旬〜6月中旬には一緒に泳ぐツアーも行われています。



**Wombat**  
ウォンバット

**AUSTRIVIA**  
\*\*\*\*\*

ウォンバットは、オーストラリア固有動物の有袋類の一種。おもに東南部、タスマニア島に生息。名称の由来はアボリジニ語の「Whom-bait=平たい鼻」。体長70〜110cm、体重20〜35kg、夜行性で草食性。別名「藪の中のブルドーザー」の名の通り、発達した前足で地中に穴を掘って生活します。またコアラと比較にならないほどの大きな鼻が特徴で、高い知能を持つといわれています。